



2020年度実績と2021年度計画

2020年度実績 (2020年6月1日～2021年5月末日)

2020年度は、まさに新型コロナウイルスに大きく振り回された1年でした。経済への影響が顕著に始まった4月以降、自動車生産台数の下落とともにわが社の販売数量は急激に下降し、5月には全体でわずか6千トンまで落ち込みました。年度の最初の月となる6月はやや持ち直したものの7,700トンと通常月の半分程度でしたが、その後は最大顧客であるトヨタ殿を中心とした自動車生産の急回復により、年度末まで大きな落ち込みなく、年度を終えることが出来ました。この結果、わが社の2020年度決算は、売上高270億円、経常利益756百万円(速報ベース)となる見込みです。

設備投資の面では、高付加価値化、生産性の向上を目指し、2020年3月のピーリング設備(十四山工場)に続き、知多工場の太物用の13号伸線機を9月に更新しました。

	2020年度の決算 (速報ベース)	2020年度の連結決算 (5社単純合計)
売上高	27,018百万円	33,887百万円
売上総利益	2,172百万円	3,530百万円
営業利益	694百万円	680百万円
経常利益	756百万円	803百万円

2021年度計画 (2021年6月1日～2022年5月末日)

今年度の収益計画は、下表の通り、売上高301億円、経常利益10億8百万円としています。足元の需要は半導体不足の影響があるものの非常に高い水準で推移しており、年度内はこの状況が継続する前提としています。現状、新型コロナウイルス感染や資源高が国内経済や自動車の生産・販売に与える影響が大変気になるところですが、今年度は新中期経営計画CC21(Change & Challenge to 2021)の最終年、すなわち「仕上げの年」にあたります。本収益計画とCC21で設定した各目標を漏れなく達成すべく、社員一丸となって頑張りましょう。

	全社	磨棒鋼管	線材	スラグ
販売量	179,135トン	35,865トン	129,545トン	13,725トン
売上高	30,082百万円	6,281百万円	19,997百万円	3,804百万円
売上総利益	2,830百万円	642百万円	1,715百万円	473百万円
営業利益	1,179百万円	256百万円	642百万円	281百万円
経常利益	1,083百万円	191百万円	614百万円	278百万円

以上

